



令和6年度全国学力・学習状況調査の結果報告と今後の取組

1 調査の概要

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が小学6年、中学3年を対象とし、毎年4月中旬に国語と算数の学力や学習状況(生活習慣等)について全国一斉に調査を実施しているものです。

2 「全国学力・学習状況調査」(小学校6年生)の結果について

(1) 各教科の結果 山名小の正答率を全国平均と比較し、☆の数で表します。

(☆下回る ☆☆やや下回る ☆☆☆全国平均 ☆☆☆☆やや上回る ☆☆☆☆☆上回る)

	国語(14問)	算数(16問)
全国	67.7	63.4
県	67.2	61.6
袋井市	64	58
山名小	☆☆☆	☆

平均正答率だけを見れば、今年度の本校の結果は、国語はほぼ全国平均、算数は全国平均を下回るという結果でした。

(2) 各教科の傾向分析

① 国語

※考えを書き表す記述式の問題では、成果と課題の両方が見られました。

○「物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く」問題の正答率は、全国とほぼ同数でした。普段から、授業終末の振り返りの中で、自分の考え・意見の後にその理由を付けて書く活動を繰り返し行っている成果と言えます。

●「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書き、自分の考えがより伝わるよう書き方を工夫して書く」問題では、全国の正答率より5ポイントほど低い結果でした。

●漢字の正答率は、全国の正答率との差は縮んでいますが少し下回っているという結果でした。書き取りのやり方を個に合ったやり方に変更し取り組んでいるところですので、継続していきます。

② 算数

※今回、全国の正答率との比較で、大きく差が開いている問題をお知らせします。

●身に付けた知識・技能を活用して考え回答する問題が、今回大きく正答率を落としました。

・ $350 \times 2 = 700$ であることをもとに、 350×16 の求め方と答えを書く。

・ 円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ。

●小数の入った除法の計算問題が、全国の正答率の比較で、大きく下回りました。

(3) 質問紙調査の結果

全部で59の質問がある中で、肯定値が全国との比較で高い項目(○)と低い項目(●)をまとめました。

○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるところまで教えてくれていると思いますか。

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

●将来の夢や目標を持っていますか。

●英語の勉強は好きですか。英語の勉強は大切だと思いますか。

●普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

3 山名小の今後の取組

<学力調査の結果から>

- 自分の考えや思いを書くことに抵抗感が少なく、まとまった量の文章を書くことができる。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
- 読み取った情報を他と比べて考えをまとめることや、事実と感想、意見を区別して、自分の考えを分かりやすく記述する。

<質問紙調査の結果から>

- 先生を信頼してくれている子が多い。先生のことを信頼し、好意的に捉えてくれている子が多くいることが分かりました。
- 英語学習に対する関心度が低い
英語や総合的な学習の中で、外国の文化に触れたり、ALT との会話をしたりする活動を意図的に組み、子どもたちの視野を広げていくような働き掛けをしていきます。
- テレビゲームや SNS 等デジタルコンテンツに触れている時間が長い。

山名小として今後取り組んでいくこと

○ 袋井型授業づくりのさらなる推進（③と④が重点）

- ① 子どもたちが考えたいような「？」型の学習課題を設定する。
- ② 授業の中で、学びを深めるためのツールとして ICT 機器を有効活用する。
- ③ 子ども同士の対話による交流を通して、自らの考えを深める。
- ④ 学習課題に対して、授業を通してわかったことや考えたこと（納得解）をその時間の振り返りとして書く時間を設定する。

山名小では、学習課題に対する自らの考えを、対話による交流活動で深めた後、授業の終末で学習課題に対する納得解をノートに書いたり、タブレットに入力したりして文字に残す活動をしています。活動の流れとしては身に付いていますが、「質」の部分での向上が課題です。

今後は、子ども同士の対話活動へ必要感をもたせるような授業展開を工夫すること、終末の振り返り活動の中で、書かせたい内容を具体的に示して、記述するように指導していきます。また、「主体性」の具体像を児童と先生とで共有し、児童自らが自身をもって「今日は、主体的に学習できた」と答えられるようにしていきます。

○ 質問紙調査結果を子どもたちにも示し、子どもたちが主体で考え活動する

今回の質問紙調査の結果や、学校振り返りアンケートの結果を子どもたちに示して課題を共有し、その課題を解決するための活動を子どもたち主体で考え行っていく活動をしていきます。2学期は運動会などの学校行事や大きな学年行事が予定されていますので、そんな行事と関係づけながら、学級の絆を高めていけるようにしていきたいと思います。そうした活動を通して、「優しい言葉をかけている」「自発的・自治的に活動する」という生活部、特活部の重点目標の具現につなげていきたいと思います。